

表-8 一酸化炭素(CO)の測定結果
〔自動車排出ガス測定局〕

地域	市町名	測定局	年度	日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準適合状況
				ppm	有×無○	
その他の地域	桑名市	国道258号桑名	1	0.5	○	○
			2	0.5	○	○
	鈴鹿市	国道23号鈴鹿	1	0.6	○	○
			2	0.5	○	○
	亀山市	国道25号亀山	1	0.5	○	○
			2	0.4	○	○

注)表-8
環境基準の長期的評価は、年間にわたる日平均値の測定値の高い方から2%の範囲内を除外した最高値(2%除外値)と環境基準値(日平均値が10 ppm以下であること。)を比較して行います。
ただし、日平均値が10 ppmを超える日が2日以上連続した場合には、このような取扱いを行わず非達成と評価します。

表-9 微小粒子状物質(PM2.5)の測定結果
〔一般環境測定局〕

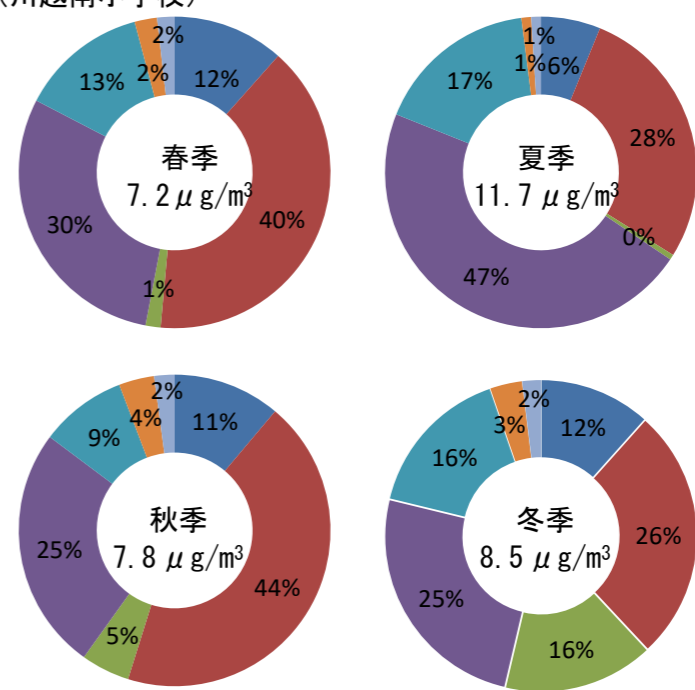
地域	市町	測定局	年度	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準適合状況
				($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
四日市地域	四日市市	四日市商業高校	1	10.6	26.1	○
			2	10.2	28.6	○
		南	1	11.4	27.0	○
			2	11.1	26.5	○
		三浜	1	9.8	23.7	○
			2	9.3	23.0	○
北星高校	1	11.4	26.6	○		
	2	10.8	25.3	○		
その他の地域	川越町	川越南小学校	1	9.8	24.7	○
	2	8.9	22.1	○		
	桑名市	桑名上野	1	9.3	23.1	○
			2	8.6	21.4	○
	いなべ市	大安中学校	1	8.7	24.5	○
			2	8.0	24.2	○
	鈴鹿市	鈴鹿算所保育所	1	11.3	26.5	○
			2	10.0	24.7	○
	亀山市	亀山みなみ保育園	1	10.9	25.5	○
			2	10.1	25.6	○
	津市	津河辺配水場	1	10.0	22.6	○
			2	10.1	25.1	○
		津立成小学校	1	8.2	22.7	○
			2	8.1	22.3	○
		林業研究所	1	8.9	24.0	○
			2	8.3	24.1	○
	松阪市	松阪第五小学校	1	9.9	24.4	○
			2	9.6	24.1	○
	明和町	明星小学校	1	9.8	26.4	○
			2	9.2	24.6	○
伊勢市	伊勢厚生中学校	1	8.7	21.5	○	
		2	8.8	22.3	○	
鳥羽市	鳥羽高校	1	7.7	21.1	○	
		2	7.2	18.5	○	
志摩市	鵜方	1	7.2	19.5	○	
		2	6.8	19.0	○	
伊賀市	伊賀柘植	1	11.3	28.5	○	
		2	10.6	27.3	○	
伊賀市	伊賀緑ヶ丘中学校	1	11.2	25.5	○	
		2	9.1	27.7	○	
名張市	名張小学校	1	10.9	27.3	○	
		2	10.7	29.6	○	
尾鷲市	尾鷲旧県職員公舎	1	8.5	21.3	○	
		2	9.0	23.6	○	
熊野市	熊野木本中学校	1	8.8	21.9	○	
		2	9.1	21.2	○	

表-10 微小粒子状物質(PM2.5)の測定結果
〔自動車排出ガス測定局〕

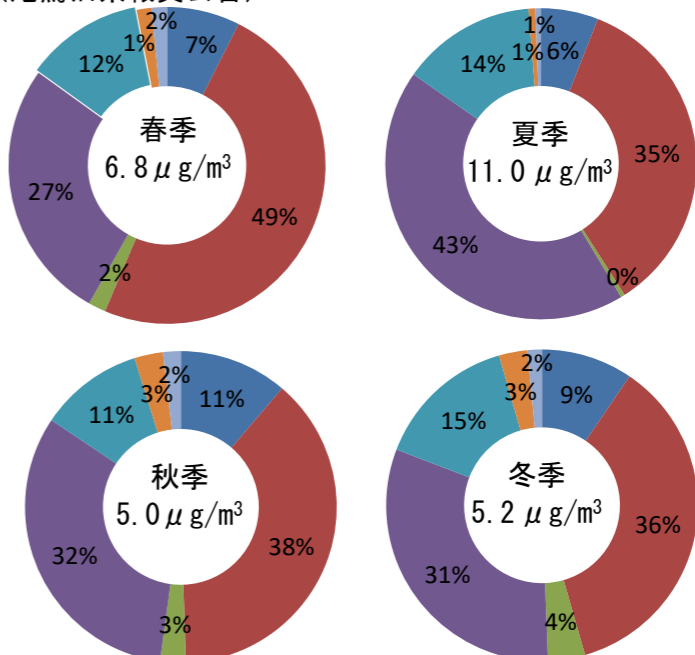
地域	市町名	測定局	年度	年平均値	日平均値の	環境基準
				($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
四日市地域	四日市市	北消防署	1	13.1	31.8	○
			2	12.8	31.0	○
		納屋	1	11.6	29.0	○
			2	8.9	25.5	○
その他の地域	桑名市	国道258号桑名	1	8.6	21.0	○
			2	8.2	21.0	○
	鈴鹿市	国道23号鈴鹿	1	11.8	26.8	○
			2	11.1	27.7	○

注)表-9、表-10
環境基準の長期基準に係る評価は、測定結果の一年平均値を長期基準(15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)と比較して行います。
短期基準に関する評価は、年間にわたる日平均値の測定値の低い方から98%目に当たる値を短期基準(35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)と比較して行います。
環境基準の評価は、長期基準と短期基準の両方を満足した場合に達成されたとします。

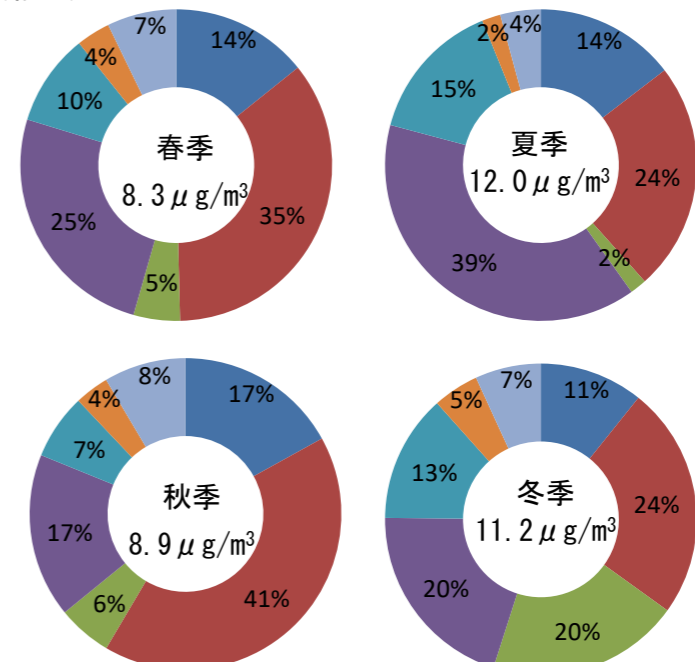
図-1 微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析結果
(川越南小学校)



(尾鷲旧県職員公舎)



(納屋)



■ 元素状炭素 ■ 有機炭素 ■ 硝酸イオン ■ 硫酸イオン ■ アンモニウムイオン
■ 塩化物イオン、ナトリウムイオン、カリウムイオン、カルシウムイオン ■ その他(アルミニウム、鉄等)

注)図-1
値はそれぞれ次の調査期間の平均値です。
春季: 令和2年 5月13日から令和2年6月1日の間で約2週間
夏季: 令和2年7月23日から令和2年8月10日の間で約2週間
秋季: 令和2年10月22日から令和2年11月9日の間で約2週間
冬季: 令和3年1月21日から令和3年2月8日の間で約2週間